

新潟県建設技術センター補助金実績報告

以下上記補助金を活用した下記事業の実績報告を致します。

①事業名 「能代川桜並木～新津川水仙堤防の保護・植栽活動と新緑等を含めた観光による地域活性化に関する事業」

②経過報告（一般経過）

- 1月 18日 あきは春一番の会（12名）
1月 27日 あきは春一番の会パンフレット作成打合せ（8名）
2月 10日 新津川水仙物語事務局会議（16名）
2月 15日 あきは春一番の会（10名）
2月 18日 一の堰・能代川桜並木の会事務局会議（14名）
3月 2日 秋葉有志の集まり（8名）
3月 15日 あきは春一番の会（10名）
3月 22日 新津川水仙物語全体会議（36名）
3月 23日 一の堰・能代川桜並木の会全体会議（41名）
3月 30日 新聞・テレビ、マスコミ報道要請活動
3月 31日 秋葉町内有志の会（12名）
4月 2日 一の堰・能代川桜並木の会観桜会準備作業（35名）
4月 6日 新潟駅頭パンフ・チラシ配布活動（10名）
4月 9, 10日 観桜会ライトアップ
4月 16日 水仙ロード観賞会
4月 16日 新津川水仙物語事務局会議（10名）
4月 19日 観桜会撤収作業（32名）
5月 14日 水仙植栽場所全域に肥料散布（約100名）
7月 11日 新津川水仙物語事務局会議（10名）
7月 15日 一の堰・能代川桜並木の会事務局会議（12名）
10月 17日 新津川水仙物語全体会議（38名）
11月 7日 新津川水仙球根植栽活動（3,500球）（約110名）
新津川水仙除草（約40名）
11月 22日 新津川水仙物語事業報告・反省会（38名）
11月 26日 一の堰・能代川桜並木の会総会（46名）

（2017年）

- 2月 8日 あきは春一番の会（9名）
2月 22～26日 写真展開催
3月 8日 一の堰・能代川桜並木の会事務局会議（14名）
3月 27日 新津川水仙物語全体会議

③主な経過報告について

☆パンフレット・チラシの作成や配布マスコミ各社への働きかけ及び宣伝に関する活動について

○パンフレット作成の最終仕上げは専門業者にゆだねましたが、内容はあきは春一番で約2ヶ月間かけて検討を加えました。要点は

①春に限定した季節用のものとすること

②3地区のそれぞれの魅力を発信し周遊観光を促すものとすること

③わかり易いキャッチフレーズで観光を呼び掛けられること

としました。出来上がったパンフレット（2万枚）は不十分な点もありますが目指した内容との関係で云えればかなりの出来具合と思われます。また事実鉄道資料館等からパンフレットの追加注文がありました。

○4月6日実施したこのパンフレットの新潟駅頭配布活動はパンフレットの配布という目的と

マスコミから報道してもらうことによる宣伝効果を狙ったものでした。そのためテレビ局5社（NHK、BSN、TeNY、NST、UX）へ配布活動を説明し報道要請を行いました。結果は全面的に空振りとなりましたが新潟駅頭で早朝約1時間10名で約2000枚のチラシ（観賞会等の案内のもの）とパンフレットを配布しました。

○テレビ局各社への駅頭配布活動の報道要請は空振りでしたがUXテレビが春一番の会の活動に興味を示してくれ4月9日午前中から取材に訪れ水仙ロードと桜並木について念入りに取材して午後6時15分頃よりテレビで生放送されました。反響は大きく場所等の問い合わせがかなり増加しました。



○区内各施設や町内会等への配布活動について。

①区内各コミ協や行政各施設へのパンフ・チラシの配置要請及び商店連、文化振興協会に参加している各団体、老人クラブ等への配布要請

②あきは春一番の会の構成メンバー各町内会及びその他含めて約40町内会へ回覧板での各家庭への配布を要請し、配布しました。

③駅頭配布を含めてこれらの活動により約1200枚のパンフレットを配布しました。

☆観桜会・観賞会の準備作業について

- 能代川桜並木は総延長が長いことや桜の本数が多いことから観桜会の為の環境整備として折損した枝の整理・草刈等から始めました。



- 4月2日 観桜会を中心とした準備作業を実施しました。

案内看板を14カ所に設置、ライトアップ準備は一の堰地区及び能代川桜並木柄目木地区で実施
ポンボリは能代川桜並木柄目木地区で準備。本年は初めての試みということもあり約100m
程の規模で実施しました。



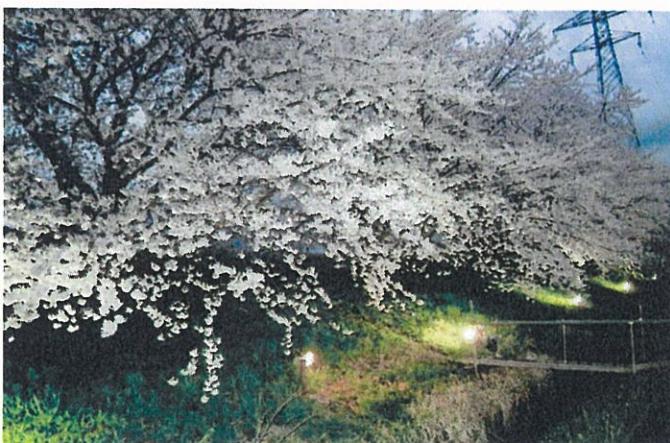
- 一の堰地区へは観桜会当日に出店の希望があった2店舗へ電気を供給するための電源の設置工事を実施しました。



- 催し物として一の堰地区へ民謡の団体から出演申し込みがあり受け入れ体制作りとして電気関係及び若干の舞台作りに協力しました。
- トイレ設備が遠い能代川桜並木地区への対応として河川敷に仮設トイレ設置の手続きを済ませて2基を設置しました。
- 河川敷駐車場の駐車ワクの白線引きを実施しスムーズで安全な駐車体制をとりました。
- 水仙ロード観賞会は4月16日恒例により新津図書館裏の広場にテント2張りその他トン汁提供のため机・椅子、プロパンと案内看板等を準備しトン汁は約270人分準備しました。
- この観賞会へこれも恒例の東日本大震災からの秋葉区への避難者への招待状の発送準備と当日のカンパ活動への準備を行いました。
- 秋葉公園・日本庭園へのライトアップ活動は新緑の状況やその効果等を含め検討した結果かつて新津の町全体で祝った秋葉神社の祭礼（4／24・25）に合わせて実施することとし準備しました。

☆観桜会・観賞会開催について

- 観桜会は予定では4月9・10日と4月16・17日の2山を設定しましたが4月9・10日が満開。土曜、日曜しかも快晴となりました。
- 一の堰地区は知名度もあり催し物・出店などがくわわり大勢の見物客が訪れました。
- 能代川桜並木は初めてのボンボリ掲出やライトアップ、マスコミ報道もあり今までにない大勢の皆様が訪れてくれました。五頭連山の残雪を背景とした若桜の並木道は訪れた多くの皆様に評価をいただき新たな秋葉区の桜の名所へと名乗りを上げたようです。



○水仙の鑑賞会は4月16日まあまあの天候の中開催。6回目の開催や植栽面積の拡大、新潟日報やテレビ局、地元紙等の報道もあり多くの方々が訪れてくれました。トン汁は完売、東日本大震災避難者へのカンパは15,000円ほど集まり地元社会福祉協議会へ早速持参しました。



○秋葉神社祭礼に日程を合わせた日本庭園へのライトアップは元々参拝客が大幅に減少している状況に加え、新緑が公園全体の景観であることなど今一つアピール度が不足したようです。

☆水仙ロードへの肥料散布活動について

5月14日この間水仙の球根を植栽した全地域（約7000m²）への肥料散布を実施しました。かつてあまりにもスゴイ雑草（セイタカアワダチソウ等）の繁殖を考慮して雑草が枯れる秋に散布していたのですがその時期では水仙が肥料を欲していなく「お礼肥」として花が終わった直後の散布が必要、しかも花付きを良くすることを求めるのであればリン酸の割合が多い肥料が良いとの指摘を受け上記時期での散布と肥料も配合割合が適しているコシヒカリ専用肥料を散布することにしたものです。実際若干ではありますが花付きが良くなつたことが確認できます。

☆水仙の球根の植栽（第2小学校5年生の授業との共同活動）と除草作業について

○第2小学校の5年生全員の授業に合わせた11月7日約3500球の水仙の球根補植と新津川クリーン作戦の除草作業でカバーしきれない新津川日揮化学上流部分左岸約2000m²の除草作業を実施しました。これは学校側の

- ①授業として実施するので平日にしてほしい
- ②一般参加者と一緒に作業することで生徒達もやっていることの意味を理解し、励みなると希望を受け止めた日付の設定と植栽方法にしたものです。

○次に除草に関してですが植栽地域全域（約7000m²）のうち約5000m²は秋葉区が別に実施する新津川クリーン作戦の対象領域にお願いし毎年10月に実施しています。今回実施した部分はこの対象外地域約2000m²であり年1回の除草作業では人力の限界を感じざるを得ず機械除草対応としました。



☆あきは春一番の会の構成団体の総会・事業報告会の開催

- 11月 22日新津川水仙物語の事業報告・反省会を開催。新潟県地域整備部、秋葉区役所を含めて38名の参加によりこの1年間の活動の総括と来年度に向けた方針の原案を確認しました。基本は今年度の方針を踏襲するものとし新津川日揮化学上流左岸より上流部への今少し植栽を展開することを確認しました。
- 11月 26日一の堰・能代川桜並木の会は定例総会を開催。秋葉区副区長、商工会議所専務理事、新津川ロータリークラブより来賓参加があり約40名の参加により初めてとなる観桜会に対する成果と反省点と来年度に向け一の堰広場の駐車場の整備や能代川河川敷駐車場への車乗り入れ口の改良等ハード面の設備の進捗を踏まえてより内容を充実させることを確認いたしました。

☆初となる写真展の開催について

- 当初秋に開催予定をより効果的な時期に開催しようということになり開花直前である2月開催となりました。全く手探りの中、開催にあたって検討した課題は
①写真コンテストにするか単なる写真展とするか。
②開催場所や呼びかけ方法、作品の受付・扱い・管理・返却、案内等や参加賞についてでした。①については最初からそう気張らなくてもどのくらいの参加者がいるかわからないと云うことで「写真展」となりました。従って審査員や賞品の問題は自動的にクリアしました。
②は一般見物客の立ち寄りも視野に入れてベルシティ2階のギャラリーとし若干専門家からのアドバイスも受けながら準備し作品の管理をしっかりとやろうと搬入日、展示日に担当を配置して対応しました。
- 写真展開催を契機として私達の活動が可能となった能代川や新津川の水害や克服のための改修の歴史を改めて思い起こそうと企画展のコーナーを設けました。かつての石油の輸送路から繰り返された水害の歴史、能代川分流堀削の歴史等写真と資料を展示しました。
一般からの作品参加は22名 42作品となりました。
- 場所設定や企画展効果もあったのか来場者は5日間で400名を超えた感想も総じて好評でした。



④成果と反省点

- 成果としては各団体の自主的活動をあきは春一番の会として連絡・調整しより活動を盛り上げようとの試みはある程度成功したと思います。
- 第1に統一パンフレットの作成と1万3千枚に及ぶ配布活動により秋葉区の春がより鮮明になったこと。(パンフレットは受け取った人から好評でした)
- 第2にライト・ポンボリ等ソフト面と駐車場等が行政により整備されたことにより市民に大きくアピールすることが出来たこと。
- 第3にそれぞれのあきは春一番の会の構成団体が活性化し駐車場の除草、折損枝の整理等環境保全に乗り出したこと。
- 第4に定例総会や事業報告・反省会等で成果と反省点、来年度の課題を検証することで財政、催し物出店要請、備品整備、駐車場の改良等の課題が明確になったこと。

○反省点としては、

- 第1にわかりやすい宣伝のあり方の検討です。日付・場所が異なる観桜会、観賞会の案内チラシや看板の掲出法などもう一工夫が必要です。
- 第2としてライトアップ・ポンボリの掲出の規模です。今少し拡大しスケールアップし更に水仙ロードに関してライトアップが出来なかった点の克服です。活動計画のより緻密さが必要です
- 第3に補助金頼りの事業ですが半額仮払い制度に対応する精算業務の検討です。1年以上の支払いが出来ない業者や個人に対応する取扱いです。

以上、決算報告（仮）関係資料を添えて報告致します。よろしくお願ひ致します。

<春満開> 桜・水仙・新緑

あきは春一番

観賞会へどうぞ！



<桜> 4月9日・10日、16日・17日

○各日ライトアップ

能代川記念公園・能代川桜並木

(草水地内) (金沢町・柄目木 飯柳地内)

○16日 松坂踊りもあるよ(能代川記念公園)

<水仙> 4月10日～20日頃が見頃

4月16日 午前11時～午後1時

○図書館裏で ◎トン汁サービス(1杯100円)

○咲いている所 新津川 新町大橋下流、
山先橋～図書館、日揮触媒化成上流

<新緑> 4月10日～20日頃が見頃

○秋葉公園内(日本庭園、秋葉苑附近、見晴台)

◎写真展 秋に開催、自慢の一枚で、是非ご参加を！

新津中央コミュニティ協議会

新津東部コミュニティ協議会

あきは春一番の会

～新潟市地域活動補助金及び沿線企業のご寄付によって実施しています。～

募集

あきは区の

かくれた 「春の魅力」を
切り取った写真は
あいませんか！

写真展の開催



< 開催日 >

平成29年2月22日（水）～2月26日（日）午前10時～午後5時まで

< 開催場所 >

ベルシティ 2階 ギャラリー

○賞は設定せず参加賞のみとします

・フォトコンテストではありません。観光振興に寄与する内容でお願いします。

< 応募方法 >

- ・桜・水仙・秋葉公園の新緑をメインとし、それ以外の場所の写真も可能です。
- ・写真はカラー、モノクロ共に4ツ切程度、1人2点までとします。
- ・応募者は1月末までに住所、氏名と写真数を新津観光協会まで申し込んで下さい。
- ・展示する写真は各自、写真添付票を付して、2月15日より2月18日（10時～17時）に写真展会場へ、持込み、写真展終了後は各自で搬出をお願いします。
- ・写真は観光振興に必要であれば、主催者が提供者の了解を得て、使用します。
- ・参加賞は写真の搬出時にお渡しします。

■応募申込先

新津観光協会

TEL : 0250-24-3777 FAX : 0250-24-3777

■問い合わせ先

あきは春一番の会

鬼島 090-3757-1515

◇主催 あきは春一番の会

代表 湯田 幸永

◇この事業は新潟県の補助金により実施しています。

切り取り線

写 真 添 付 票

写 真 添 付 票

氏名	
住所	
電話番号	
題名	
撮影日	

氏名	
住所	
電話番号	
題名	
撮影日	

JR東新津駅より能代川桜並木までの案内図

満開の青春桜。
ゆっくりご堪能下さい。

